



早稲田大学にて技術職員研修を行いました

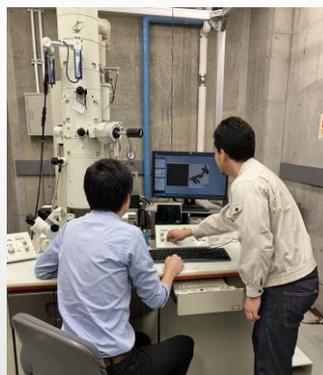
技術職員研修の狙い

令和3年に本学が採択されました文部科学省コアファシリティ構築支援事業では研究機器の共用化だけでなく、それらの設備機器を保守管理し、利用者支援の人材育成（スキルアップ、キャリアパス形成）が大きなミッションになっています。今回、本事業の先行採択機関の早稲田大学の技術部教育研究支援課の協力により、スコップの技術員の小菌 拓馬 特任助教を、早稲田大学技術部に派遣し、共用機器の管理体制の構築や運営に関する知見習得及び意見交換、装置技能の向上等のスキルアップ、技術者間のネットワーク形成を目指し2ヶ月間研修を行いました。

これを機会に、両学間での共用機器の相互利用や技術職員交流といった連携構築の強化を図ります。

派遣スタッフから～研修を終えて～

6月上旬より約2ヶ月間（週2日間）にわたり早稲田大学理工学術院（西早稲田キャンパス）内の物性計測センターラボを中心に、その他にも材料技術研究所、環境保全センター、TWIns、リサーチイノベーションセンターの各部署にて研究支援業務から共用機器管理、安全教育、学生の実験実習、小中学生の実験教室企画まで、早稲田大学技術部が担う幅広い業務内容やその運営及び体制構築について知見を深めるとともに、意見交換を行いました。またこの期間、多くの分析機器について装置原理や利用用途、利用方法を学ぶとともに、多くの職員の方々と知り合うことができました。今後は、この研修で得た知見や経験、ネットワークを私自身のキャリア、そして両学間の連携強化に活かしたい所存です。このような貴重な機会を提供して下さった早稲田大学技術部の皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。



《研修の様子》
於物性計測センターラボ



西早稲田キャンパス

共用機器の相互利用に向けて

早稲田大学の物性計測センターラボ、材料技術研究所、環境保全センター、TWInsでは右記装置を中心に管理しており、学内の研究者を中心に、研究支援業務を行っております。専門家のサポートの元、研究支援を受けることが可能で、現在スコップのコーディネーターを中心に農工大の研究者や学生の皆様にもご利用頂けるよう連携体制を構築して参ります。右記の装置を中心にご相談等ございましたら、スコップ窓口まで気兼ねなくご連絡下さい。詳細につきましては、各部署のホームページをご覧ください。

物性計測センターラボ

FE-TEM (200 kV)、FE-SEM、SPM、XRD、XRF、FT-IR、Raman、MS、NMR等

材料技術研究所

FE-TEM (200 kV)、FIB-SEM、EPMA、AES、XRD、XRF等

環境保全センター

ICP-MS、ICP-OES等

TWIns

セルソーター、超解像顕微鏡等

スコップご利用の方は窓口担当scoop-groups@go.tuat.ac.jpまでお問合せ下さい。